

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム きびの里

目標達成計画

作成日: 平成 30 年 3 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36 (14)	「真心と思いやりをもって」職員一同心がけ、入居者様に寄り添って対応しているつもりも、ちょっとした事で気分を悪くさせていないか常日頃から気を配れるように注意が必要。	居室に入居者様が「いる、いない」に関らず細やかな部分(ノック、声かけ)を職員が身につけれるように普段から対応していく	「たまたま、うっかり」した対応が、入居者様を驚かせたり、気分を悪くさせる事も想定しながら、目標に挙げた細やかに、かつ当たり前の事を注意し日頃の業務を行っていく	12ヶ月
2	40 (15)	イベント時以外で入居者様と一緒に食事を摂る機会が少ない為、共有するという場を増やしていく。	朝昼夕と1日3食職員が食事の場に携わる時間の中で昼食時間が共有できる時間となる為、週に3回は共に食事を摂る時間を目標としたい	当日勤務者で併設する病院の食堂で食事をとる職員もいる為、その日の職員によって一緒に食事が摂れずらいという状況も想定するが、休憩時間を考慮しつつ、勤務状況に関係なく、一緒に食事を摂る事をまずは実践していきたい	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。